NIE実践報告

1．タイトル：☆読解力・表現力を育てるー社会に目を向け主体的に考える姿勢を育てるー

2．学校名

大阪府好文学園女子高等学校

3．実践者名（代表者名）

木下 ゆかり

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　218人

6．単元（本時の学習課題）名

進路ゼミ（NIEゼミ）

7．目標(狙い)

新聞を読むことによって、読解力・表現力を育てるとともに社会に目を向け主体的に考える姿勢を育てる。

8．評価の視点

①自主的に新聞記事を読むことができたか。　②積極的に興味のある記事を選ぶことができたか。
③自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

通年　1単位　25時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1学期①見出しについて考える。(2時間)
②リード文から5W1Hを読み取る。(2時間)
③見出し・写真の効果について考える。(1時間)
④記事を読解する。(1時間)
⑤記事を選択する。(2時間)
⑥新聞の投書を分析する。(1時間)
2学期⑦新聞に投書する。(6時間)
⑧イチ押し記事を選ぶ。(7時間)
3学期⑨高校3年間を振り返る。(3時間)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

定期考査がなく、評価方法がはっきりしなかったので、戸惑う生徒もいたが、今まで身近に起こっている出来事に興味を持たなかった生徒も記事を選んでプリントすることにより、新聞に興味を持つことができるようになった。

12．成果と課題

毎日の新聞から社会について考えるようになり、いろいろなことを考える姿勢を育てることができた。生徒の予想外の反応を知ることによって、今まで知らなかった生徒の側面を垣間見ることができた。授業で考えるという姿勢が定着し、また、新聞に投稿することによって、自信をもって文章を書くことができた。

年間を通した実践として、より綿密な計画を立てるとともに、明確な評価基準を示す必要がある。日常から主体的に考える姿勢を育てるために良い文章に触れる機会を増やしたい。実践を積極的にアピールすることにより、他学年や他教科へ広げて本校での実践を定着させたい。